

愛知こどもの国に響きわたる音楽の祭典

## こどもの国音楽祭 秋のこどもよい祭り

こどもの国音楽祭が9月19日・20日、愛知こどもの国ゆうひが丘で行われました。自由広場に設置された特設ステージでは、歌やダンス、和太鼓、マーチング演奏など、多種多様なパフォーマンスが繰り広げられました。中には来場者や他の出演者も加わって歌ったり、踊ったりする演目もあり、観客から大きな拍手が送られていました。

19日の夜には秋のこどもよい祭りが行われ、月明かりの中、ゴーカートやこども汽車が運行されました。フィナーレに広場で手筒火花が披露されると、来場者から大きな歓声が上がっていました。



西尾の秋を感じるイベント

## にしお都市緑化フェア 西尾の抹茶の日 にしお産業物産フェア



にしお都市緑化フェアが10月3日～11日に歴史公園で、西尾の抹茶の日記念行事とにしお産業物産フェアが10日・11日の両日、文化会館で開催されました。西尾城址には、市内全小学校の児童や鶴城丘高等学校の生徒が制作した花壇などが展示され、会場を華やかに彩っていました。10日からは、両会場で多彩なイベントが開催され、カーネーションを使ったアレンジフラワー体験や無料抹茶サービス、地元企業による産業展などが行われました。3つのイベントと連休が重なったこともあり、会場はあふれんばかりの人でにぎわい、来場者は行楽の秋を満喫していました。





はりがねでこんちゅうを作ろう

## アートでGo!Go!~こんちゅうはりがね~

9月13日に、アートでGo!Go!~こんちゅうはりがね~が岩瀬文庫で行われました。参加者は講師の橋寛憲氏のアドバイスを受けながら、それぞれ思い思いの作品作りに挑戦しました。針金で骨格を作り、カラフルなモールなどで装飾すると、きれいなクワガタやトンボなどが完成しました。テントウムシを作った参加者は「背中の飾りつけを工夫した。楽しかった」と笑顔で話してくれました。



名鉄西尾・蒲郡線の存続を願って

## にしがま線利用促進鉄道イベント「鉄研」

にしがま線利用促進イベント「鉄研」が9月13日、幡豆いきいきセンターで開催されました。名鉄西尾・蒲郡線の必要性和地域の発展を市民の皆さんと共に考えようと、昨年に引き続き行われました。石炭で走る本物さながらミニS Lの乗車体験をはじめ、巨大ジオラマでの赤い電車の鉄道模型Nゲージの運転、地元鉄道愛好家による講演、名鉄西尾・蒲郡線応援団公式応援ソングのミニコンサートなどが行われ、大勢の人でにぎわっていました。飲食ブースでは、鉄研実行委員会が開発したアサリ出汁の「にしがまラーメン」が販売され、「あっさりしていておいしい」と来場者は地元の味覚も楽しんでいました。



漁船に乗って、三河湾の自然を体感

## 三河湾クルーズ『海の生き物』調査隊



矢作川をきれいにする会主催の三河湾クルーズ『海の生き物調査隊』が、9月13日に行われました。96人の参加者が、6隻の漁船に分乗して宮崎漁港を出発し、三河湾で底引き網漁業を体験しました。その後、底引き網で捕れた海の生き物や、缶・ペットボトルなどのごみを調査し、三河湾の環境について学んでいました。参加者は捕れたエイやカレイ、カニなどの海の生き物を見ると歓声を上げ、手に取って眺めていました。捕れた海の幸はお土産として持ち帰ることができ、参加者はみんな笑顔で帰って行きました。

秋風の心地よい三ヶ根山頂を満喫

## 三ヶ根山秋色フェスティバル



快晴に恵まれた10月3日、三ヶ根山スカイライン山頂駐車場で、三ヶ根山秋色フェスティバル2015が開催されました。この時期三ヶ根山に飛来するアサギマダラのマーキング大会には、約80人が参加しました。参加者は虫取り網を持って三ヶ根山を駆け回り、捕獲したアサギマダラにマーキングして、再び空に帰していました。また、会場ではミュージック空手やハーモニカなどのステージイベントのほか、お楽しみ抽選会などが行われ、大勢の人でにぎわっていました。